

収 穫

小林まもる

\*

それなりの道具を使い  
ぐっすりと眠るだけの  
疲れがあつた  
遠き日の村境  
名もないわたしたちの  
リアカー

人と生業なりわいがあり

忍び泣く声もなく

野辺や軒先は

ゆっくりと暮れ

小鳥たちも足りていた

\*

竿燈が過ぎ

盂蘭盆になつても

おまえはまだ

帰つてこない

風はすでに海を渡り

ツンドラの秋を

吹き抜けているのに

不妊の都市で

棒立ちのまま

どのような稔りの秋を  
迎えるというのか